

【環境対応ガソリン「E7 ガソリン」とは】

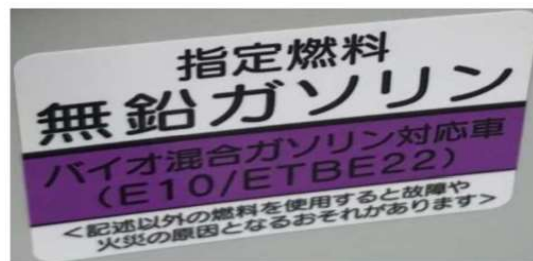


中川物産株式会社が製造・販売を開始する「E7 ガソリン」とは、食料との競合や森林破壊などの問題を起こさない持続可能性にすぐれたアメリカ産のデントコーンを原料として製造されたバイオエタノールを、化石由来のガソリンに7%混合した環境対応ガソリンです。「E7 ガソリン」は自動車などにより使用される際に、通常のガソリンと同じようにCO2を排出しますが、原料となるデントコーンが成長過程で光合成によってCO2を吸収するため、ガソリンを使用した際のCO2排出量が7%分実質的にプラスマイナスゼロとなるカーボンニュートラルの実現を可能とするガソリンです。アメリカでは既に平均14%程度、バイオエタノールがガソリンに混合されており、欧州・南米等の地域においても10%以上混合されていますが、日本においては未だ1.7%程度の混合率にとどまっています。

日本では2012年から、それまでのバイオエタノール混合上限3%を10%に引き上げる旨の各種法令改正がなされ、E10ガソリン対応車(※)に限定され給油できるようになりました。



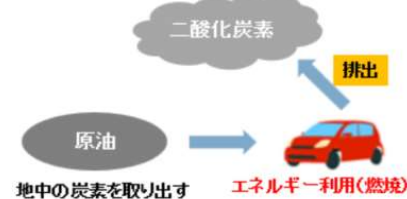
※資料出所：アメリカ穀物協会



※E10ガソリン対応車の例
給油口に「バイオ混合ガソリン対応車/E10・ETBE22」シールが貼られています。(車検証にも明示されています)

カーボンニュートラル

化石燃料の場合



通常のガソリンや軽油など化石燃料である原油由来の燃料は、原油を地中から掘り出すため、地中に眠っていたCO2を大気中に放出することになってしまいます。

バイオ燃料の場合



E7ガソリンなどのバイオ燃料は、原料である植物が成長する過程で光合成によりCO2を吸収します。利用時(燃焼時)には、石油由来燃料と同じくCO2を排出しますが、そのCO2は元々大気中にあったものなので、プラスマイナスゼロとみなすことができます。この概念が「カーボンニュートラル」です。